

火災発生時対応マニュアル



火災は、いつ、どこで発生するかを予測できません。火災では、初期対応が大切です。消防隊が来るまでは、そこにいる人が適切な判断で行動しなければなりません。人間は、突発的に災害に遭遇するとパニックに陥りやすいものです。もし火災が起こってもあわてずに行動できるよう、繰り返し訓練を実施することによって、体で覚えた行動が万一のときに役に立ちます。過去の大きな火災事例でも、しっかりした消防訓練が行なわれておれば、ボヤ程度の被害で済んでいた可能性が高かったという報告がなされています。

1 火災の確認



2 火災場所の確認



※自動火災報知設備で場所を確認



※火災の疑いのある部屋に駆けつけます。このときには、消火器を持って行きます。

※火災ではなかった場合は感知器を資格者に点検させましょう。

火災の場合、初期消火・通報・避難誘導に順番はありません。状況によって選択しましょう。

3 初期消火の実施

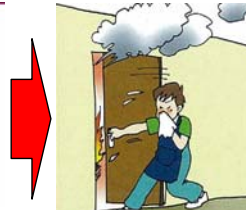


※火災室に逃げ遅れ者がいないことを確認し、消火器などを使って消火をします。なお、炎が既に天井から天井まで届いているなど消火が困難な場合には、避難を優先します。

3 出火室からの避難



※火災室に自力で避難できない方がいる場合には、適切な介助により、一時的に火災室の外の安全な場所に避難させましょう。



※火災室を離れるときは、火災を拡大させないように、ドアや引き戸を閉めることが大切です。

3 消防機関へ通報



消防機関へ119番をして、必要な事項を速やかに伝えます。※通報に関しては、この流れにとらわれることなく、できるだけ早いタイミングで行なってください。

火災室以外にいる者の建物外等への避難



火災室にいた自力避難困難者の建物外までの避難介助



一時的に火災室の外に避難した方を、建物の外の安全な場所まで避難させます。

消防隊への情報提供



消防隊が到着したら、逃げ遅れ者やケガ人の有無など必要な情報を伝えます。

火災の発生を叫びながら、逃げ遅れ者の有無を確認していきます。自力避難できない方などには、適切な介助を行ないます。

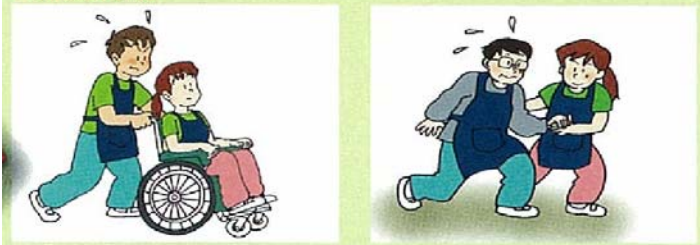
消防訓練マニュアル

訓練実施の事前準備

- 訓練中にケガをしないよう、心がけましょう。
- 訓練は、避難が最も困難な状況を設定します。
- 利用者が訓練に参加できないときは、職員が代役になるか、人形で代用しましょう。
- 近隣に、非常時に協力してくれる方がいる場合は、一緒に訓練を行なうと良いでしょう。
- 自力で避難できないような方がいる場合は、介助方法を事前に理解しておきましょう。
- 訓練実施前は、消防機関へ連絡しましょう。（事前に連絡する義務があります）
- 訓練実施後は、良かった点や反省点を確認して、次回に活かしましょう。

実際に避難介助や初期消火・通報行動を短時間に行なう訓練をしましょう。

▼避難介助



▼初期消火動作



- 安全栓を抜く。
- ノズルをはずす。
- 放出姿勢で15秒間維持する。
- ※3～6m離れた位置から放出

▼通報訓練

●119番受付員役 ●通報者役

火事ですか、救急ですか？ 火事です

場所はどこですか？ ○○市○○町○丁目○番○号です

何が燃えていますか？ ○○が燃えています

あなたの名前と、今かけている電話の番号を教えてください

私の名前は○○○○です
電話番号は○○-○○○-○○○です

実際に火災が発生したときには気が動転し、落ち着いて通報できなくなる場合があります。あわてて一方的に話すとは正確に伝わらない上、時間もかかりますので、落ち着いて聞かれたことに正確に答えていくと良いでしょう。ただし、通報している場所にまで煙や火が拡大するなどの危険が迫っている場合は、すぐに避難しましょう。

※訓練を行う場合は事前に消防機関へ連絡する
局予防課 (Tel.822-0429) 中央消防署 (Tel.820-0119)
北消防署 (Tel.848-0119) 南消防署 (Tel.879-6119)

自己チェックのポイント

- 訓練はケガなく、実施できましたか。
- 各部屋を確認し、火災場所の確認ができましたか。
- 火災場所の確認時には、消火器を携行しましたか。
- 消火器の使い方はわかりましたか。
- 適切に119番通報できましたか。
- 自力で避難できない方を適切に介助できましたか。
- 火災室を離れるときは、入り口のドアや引き戸を閉鎖しましたか。
- 逃げ遅れ者の有無を確認しましたか。
- 消防隊へ必要な情報を適切に伝えることができましたか。
- 近隣協力者との連携はうまくできましたか。

その他、気付いたことなどを皆さんで話し合いながら、万が一の火災に備えましょう！

防火安全対策

1 日常の火気管理

▼火の始末



寝たばこは絶対にやめましょう。また、決められた場所で喫煙をしましょう。

▼キッチン周り等の火気管理・整頓



火を使用する前には、周囲の整理をして正しく使いましょう。

2 火災発生時の対応

▼迅速な対応



万が一、火災が発生した場合には、迅速かつ的確な対応ができますか？被害を最小限に食い止めるため、日頃の心構えと備えが重要です。

3 消防訓練にあたって



消防訓練を行う際は、事前準備を行うとともに、安全に注意して実施しましょう。また、終了後には、良かった点や反省点を確認して次回に活かしましょう。

4 消防設備の維持管理



消防設備は点検を実施し、万が一の火災に備えましょう。